

さあ 地産地商に腰をあげよう

この素晴らしい自然環境と生活共同体の力で

かつては日本のどこにでも見られた田植え共同作業の情景。今は、催し物や地域の祭事として伝承されています。思い返してみると、戦後から今日まで、私たち国民は豊かさを求めて移動し、モノを創り、家や自動車を求め、猛烈に働いてきて食べ物に感謝することを忘れてきたように思えます。

今、日本経済や地球環境は危うい方向に向かっていきます。世界資本も工業国から農業国に移動しつつあるなか、どうやら食糧の大切さが国民意識にも芽生えだしました。

私たち飯南町は

全国の中山間地域共通の課題を抱えています。そして、やはり財政難です。

それでも暮らしていきたいと

それでも暮らしていかなければと思える町なのです。

豊かな自然と落ち着いた生活空間、伝承されてきた風習。優しさと強さが共存している町なのです。

私たちの出番が来たんじゃないのですか。

百家争鳴の農業論議より

百姓が本当に喜べる環境を創っていきましょう。

既に「青空市」での事例があるじゃないですか。

高齢者が前向きに農作物販売に取り組み、

思いもよらぬ収益をいただくのです。

さあ、みんなで地産地商に取り組んでいきましょう。

地域環境を大切にし、身の丈にあった生産をし、

多くの人に求めてもらいましょう。

結果的に食糧自給率の向上にもなることですから。

私たち議会も、応援をしていきます。

